

都立上野高校
進路通信3年生版
羅針盤第7号



令和5年11月8日（水）
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

先輩に聞く「共通テスト必勝法」

共通テストまで、あと60日になりました。共通テストは、国公立受験の人はもちろん、私大を志望している人にとっても、活用度が高い試験です。ただ、私大や国公立大2次の入試問題に比べると問題形式が異なります。例えば、

- ①全問マーク形式
 - ②問題文が長い。
 - ③グラフや資料の読み取りがある。
 - ④数学などでは、誘導に従って解かなければならない。
- などです。共通テストで高得点を取るためには、しっかりとした基礎学力を土台にした上で、各教科の特色ある問題に、共通テスト模試・過去問・予想問題等を使いながら、慣れていくことも大事です。



今回は、昨年共通テストを受験した75期の大学生チューターと問題を分析してもらった74期・73期の元大学生チューターに、共通テストで高得点を取るための対策をアドバイスしてもらいました。

【数学ⅠA・ⅡB】

75期 東京工業大学工学院 I. T. 君

一般選抜の数学と共通テストの数学は異なる教科だと思ってきていいので、共テ対策が必要です。

共テの特徴としては、

- 難易度は、基礎中の基礎から発展まで幅広い。
- 出題範囲は数Ⅰの「データと活用」までしっかり出る。
- 出題は虫食い問題が基本だが、直接的な問いを虫食いにしているものも多い。
($X^2 - 2X + 6$) を因数分解すると $(X + \text{ア})(X - \text{イ})$ である等
- 一部の虫食いは、一風変わっているものであり、思考力とメタ読み力が試される。

以上を踏まえると、

- ①問題形式に慣れること。大問構成や問題構成、文章題をどれだけ早くいつもの問題に落とし込めるか。
- ②一般受験対策と共テ対策を同時並行で行う（理系の人向け。共テのみの文系の人共テ対策メイン）。
- ③問題を解く際に、時間意識を持つ（1つの大問20分など）
- ④スケジュールを立てる
 - 1) 受験までの計画（〇月までに過去問X回文、ここでは一般受験と共テをどれくらい）
 - 2) 月ごとの計画
 - 3) 週ごとの計画
 - 4) 日ごとの計画

が大切です。共テは慣れればたいした敵じゃない。数学力を伸ばしておこう。

73期大学生チューターのS. R君（電気通信大学）は、2022年の史上最低の平均点だった数ⅡBの問題を見て、

「2022年度数学ⅡBの第4問で状況理解や文章の理解が出来ず、焦って読み返して悩んで…。こんな時は他に出来る問題から片付ける方がよいです。ペースを狂わせると点数が

大幅に下がることがあるので、普段から時間配分を重視して問題演習を行い、当日はそれを絶対に守って問題に取り組んでください。つまり出来る問題を満点狙いで勉強してください。」とアドバイスをしてくれました。

【古文・漢文】

75期 東京外国語大学言語文化学部 N. K. 君

古文は、基本をやっても解けないことがあるとは、よく言われますが、基本を徹底させることは確実に力になります。単語・文法・古文常識を覚えていくと難しい文章にも対応できると思います。そのためにも授業を活用しましょう。古典は授業で分からなかったものを復習したり、小テストで解けなかったものをやり直すなど、授業中心のルーティーンが望ましいです。問題集も買いましたが、授業でやったことの復習と感じました。漢文は基本を生かせる分野です。句形や対句・詩のルールを覚えて、あとは問題を解きつつ慣れていくだけです。文を全体的に眺めると答えが分かることが多いです。古文の活用や漢文の句形はとにかく音読して行きましょう。耳から覚えるのが効果的です。

【現代文】

75期 千葉大学法政経学部M. M. さん

選択肢の中身が一見するとどれも似ていて迷ったり焦ってパニックに陥ることがある。選択肢を見る前に設問を読んで、ある程度見当をつけておいたり、解答の根拠となる箇所印をつけ、そこに当てはまらない選択肢を消していくと安心だと思う。消去法で解いていき、2つくらいに絞られたら、丁寧に選択肢の文章を読んで解答を吟味してみる。傍線部の理由や説明を問われた際は、一文に傍線を伸ばしてみたり、前後に似た表現はないか探してみると良い。

「つまり」「すなわち」の後や「～とも言える」などの表現に注意してみる。小説で心情を問われたら、時系列や人物、情景の描写をよく確認してから答えたり、該当する場面と設問のページを行き来しながら考えていく。読み飛ばすのは、おすすめしません。一応全てに目を通して見て、その中で大事な部分に印をつけていくのが、よいと思います。

【国語】

74期 東京学芸大学教育学部 E. J. さん 学習院大学経済学部 M. Tさん

「古文は大体が単語帳を見て覚えていけば、解けるので落とさないようにしましょう。古文単語には複数の意味を持つものもあるので、その場合はすぐ決めないで、ある程度しばらく文章を読んでから解答するといいです。文法（助動詞・敬語）は、文法書をしっかり学習しましょう。」

「漢文はとにかく漢文必携を読みましょう。漢文は主語・動詞・目的語・補語を正確に理解すると読みやすくなります。人物は□で囲んだり、自分流のルールで漢字の羅列（られつ）を単語に分けることが大切です。」

「古文が理解できていけば、漢文も時制など理解できます。漢文の代表的な文法を覚えておけば、答えられる設問があります。」

「古文・漢文では問いの選択肢を見ることは効果的（現代文はやらないでください）です。大まかな内容と登場人物を確認できるため、読みやすくなります」



「評論の解き方ですが、文章を読む前に問いを確認します。ここで選択肢まで見ると、ほとんどが間違いですし、変な固定概念にとらわれるので、見ないでください。次に問題文を読んで、何について聞かれているのかを把握しましょう。解答するときは、文章を細かく区切って見るとよいです。ここで注意するのは、どれだけ内容が合っているか一部が違っていたら×なので要注意です。迷ったら△にして他の選択肢と比べましょう。」「小説のポイントは個人的な感情を持ち込まないことです。自分だったらこう考える（思う）だろうな、こう思っているだろうと問題を解くのは危険です。本文をしっかり読み、答える際には根拠が必要なので意識しましょう。」

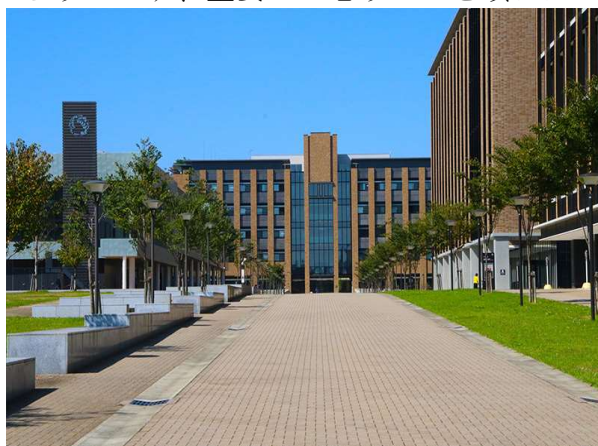
【英語リーディング・リスニング】

75期 東京外国語大学言語文化学部 N. K. 君

近年の共通テストの英語は難化していますが、昨年度は英語が得意と思っていた私でも焦りを覚えるような内容でした。特にリーディングは分量が増え、ただ文を読むだけでは答えられない問題も多かったです。リスニングも、もし日本語で聞かれたとしても答えにくい問題があり、高速で多くの情報を正確に処理していくことが必要です。また英語は1日の最後と言うこともあり、疲労が蓄積された状態になり、より難しいコンディションになります。

リーディングについては、速読力をつけることが大事です。一単語ずつ丁寧に読んで分からない単語ごとにつまづいては時間が足りないので、長文を時間をはかって読んで、スピードを上げて行くと良いです。全てを分かろうとせず、重要だと思うことを頭にメモしつつ読むと良いかもしれません。このあたりの感覚を量をこなして身につけていきましょう。また速読には音読も有効な練習です。

リスニングは、うまく聞き取れなかった箇所（単語の連結など）をスクリプトで確認したり、ディクテーションをしたりして、自分の弱点を洗い出して直して行くのが良いと思います。色々な地域の発音を聞いて耳を慣らしていくのも良いです。リーディング・リスニングに共通しますが、問題文を先に確認してから、文を読むようにしましょう。また時事的な内容に対応できるようにするために、幅広い内容の英文に触れると良いですよ。



【物理】

75期 明治大学理工学部 E. Y. 君

参考書でわからない単元をなくしていくことが大事です。共通テストの物理は基礎が完璧なら満点も狙えます。今まで使ってきた参考書をもう一度解いてみて、スラスラ解けて解答が合っていたら○、解き方は分かるが解答を間違えてしまった問題は△、解き方が分からない問題は×をつけます。

○の問題：そのまま大丈夫です。

△の問題：どこでミスをしてしまったのかを把握する。その後1週間程度を開けて再度解く。

×の問題：ルーズリーフを1枚以上使って教科書か参考書の原理を確認しながら、自分なりにその分野をまとめてみましょう（解答を見て答えを覚えるとい事ではありません！）。私のおすすめは、YouTubeにある10分程度の原理の解説動画です。短時間で大切なポイントのみをおさえることができる。しっかり学びたいときはスタサブの動画でも良いですが、一つ一つにたっぷり時間をかける余裕はもうないので注意しましょう。

わからないところがあったら先生（大学生チューターでもいいです）に聞きに行きましょう。でもまずは自分で考えなければ、力はつきません。考えて分からなかった時だけにしましょう。

【日本史・世界史】

73期 慶應義塾大学文学部 K. H. 君

「共通テスト日本史・世界史は難化したと言われますが、私大に比べれば簡単な方です。

ただ情報処理能力を求められるので、多い問題文、図、地図、資料（史料）からポイントを見つけて問題を処理することが大事です。日本史や世界史は単なる暗記ではなく、理解して覚えるのが正解です。やみくもに出来事を覚えるのではなく、流れに注目すること、もちろん覚えるためにインプットはするが、アウトプットも大事！単語は1問1答でアウトプットし、色々な問題を解いてみるとよいです。政治の話に文化史の時期をきちんとリンクさせることが大事です！『古い順に並び替えよ』のような時代順を尋ねる問題が苦手な人がいますが、それは出来事を年号で覚えているか、出来事の因果関係を知らないからです。日本史や世界史は重要な年号は覚えた方がいいですが、大学入試では年号を問うところ（例えば上智）は少ないので大丈夫です。まずは選択肢を見て、次に資料（史料）を見て正誤を決めましょう。さらに資料（史料）問題では知識も関わるから持っている知識をフル活用するとよいです。」



75期 法政大学文学部 F. Y. 君

①文化史は作品を見て覚えよう！

像や絵画は文字だけでどのような特徴があると分かってもあまりピンとこないことがほとんどです。教科書や資料集で実際に画像も覚えましょう。問題に直接画像が見られることも多々あります。

②近現代史は因果関係をはっきりさせよう！

近現代史用語もたくさん出てきて複雑です。これを1問1答形式で覚えようとするとならちがあきません。ストーリーをしっかり把握して、その上で語句を確認暗記するといいです。

【化学】

75期 東京工業大学工学院 I. T. 君

まず化学は、「理系の社会」と呼ばれるような教科で、暗記をしないとそもそも土俵に上がれないので暗記を中心に、そして理論の理解も並行して進めていく必要があります。

化学は覚えるべき範囲はキリが無いし、どれが出るかわからないので、フィードバックしていく方法が有効です。教科書等で確認し、問題を解く中で教科書等に書き込んだり、線を引いたり、見たりとフィードバックしていき、分からないもの、知らないものを覚えていきたいことを全て一つに詰め込んで行きましょう。分散させずに1つに！できれば思い出すときにそのページが頭で復元できるようにするとGood！

もう一つ覚え方にもコツがあります。一般論と例外で分けましょう。例えば、 CrO_4^{2-} の沈殿は、一般には黄色（Cu、Pb）例外は Ag_2Cr_4 で褐色という風に情報を少ないビット数で覚えると少し暗記が楽になります。

